

令和6年度第1回大和市社会教育委員会議臨時会（第33期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和6年度第1回大和市社会教育委員会議臨時会（第33期）
開催日時		令和6年8月13日（火曜日）午後3時00分～午後4時40分
開催場所		文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室
出席状況	委員	10人：伊藤（能）委員、大川委員、小早川委員、小森委員、齋藤委員、中村委員、中山委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員
	関係各課	1人：図書・学び交流課長
	事務局	3人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（046-259-6104）
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由		
審議又は検討経過及び結果		1 会議次第 （1）あいさつ （2）協議事項 1）大和市生涯学習推進計画（案）について （3）その他 主な内容は次のとおり <開会> <協議事項> 「大和市生涯学習推進計画（案）」第1章～第2章について、事務局より説明。 （議長）事務局からの説明に対し、まずは第1章について意見等はあるか。 （委員）1ページ5段落目の3行目に「（以下、この頁において「新総合計画」という。）」と記載がある。これは生涯学習推進計画（案）が令和7年度から開始する第10次大和市総合計画をベースとしているという趣旨の記載だと思うが、1ページの記載の仕方では現行の総合計画をベースにしているようにも取れるので、整合性が取れないと感じた。「新」はいらないのではないか。「新」をつけるなら、生涯学習推進計画（案）にも、「新」をつけなければならなくなる。検討してほしい。 （市）検討させていただく。 （議長）第2章について、委員から意見等はあるか。 （委員）5ページ6行目の「国民一人一人」という表記（教育基本法第3条の抜粋）だが、「一人一人」の国の表記は漢字で、市の文書は「一人ひとり」と漢字とひらがなで表記している。市の方ではこのように統一しているのか。 （市）法律の表記についてはそのまま使用している。法律以外の箇所については「一人ひとり」と表記しているが、検討が必要か。 （委員）国の施策を示しているのだから、変更する必要はないと思う。必要ならば説明をつけられればよい。

- (委員) 6 ページ「(1) 国の動向」の文章の一文が長すぎる。主語と述語が繋がらない。特に 2 段落目の「平成 30 年度 (2018 年度) には～」の一文が、長すぎて、主語が分からなくなる。主語と述語が繋がるように修正したほうが良い。
- (市) 該当の文章について、読みやすくなるよう修正する。
- (委員) 感想に近いものだが、10 ページの 3 行目に、新型コロナウイルス感染症の影響について述べられている。コロナ禍の収束によって、様々な生涯学習活動に人が戻ってきて喜ばしいことではあるが、最近新型コロナウイルスの感染が再び拡大してきているので、今後の動向を懸念している。
- (委員) そういった感染症拡大の可能性等も考慮しつつ、5 年間の新しい生涯学習推進計画を策定する必要がある。
- (委員) 10 ページ 6 行目に「ニューノーマル (新しい常態)」と記載があるが、カッコ書きに違和感がある。
- (市) ご指摘の表記については、注釈に変更するなど検討する。
- (議長) 他に注釈をつけている用語もあるので、それでもよいと思う。
- (委員) 計画案に、教育委員会に提出した提言書の内容が盛り込まれ、社会教育委員会議の研究の成果を施策の一部として入れていただけて良かった。

「大和市生涯学習推進計画 (案)」第 3 章について、事務局より説明。

- (議長) 第 3 章、13 ページから 24 ページの施策目標 1 について、意見等はあるか。
- (委員) 施策目標 1 だが、今年の夏のような暑さでは、クーラーが効いているところで安全に学習に取り組める場を提供するというのは大切ではないかと思うので、「安全に学習できる場」という文言を入れた方がよいと思う。
- (委員) 「居場所」に下和田の郷を追加したことはとてもよいと思う。機会があれば、視察してみたい。
- (委員) 全体的にはこの内容でいいと思うが、18 ページの「家庭教育支援に関する学習機会を提供します」について、4 行目に「小学校就学以降の子に対する家庭教育については、保護者自身が学習の必要性を十分に認識していない傾向がみられます」とある。以前も議論したと思うが、マイナスイメージの強い表現だ。特定の根拠はあったらどうか。(もしないのであれば) このように言い切ってしまうのはどうかと思う。
- (市) その箇所については、文言の修正を検討する。
- (委員) 17 ページの一番下の段に記載のある DX (デジタルトランスフォーメーション) の単語にも、注釈をつけた方がいいのではないかと。SDGs は注釈がついていたが、DX にはついていない。
- (市) DX についても注釈をつける。
- (委員) 17 ページの一番下の段、5 行目に「従来の社会教育事業を充実」とあるが、これは現行の計画には載っていない。このような文言が新しい計画にあるのは良いことだ。あえて「社会教育事業」を前面に出した意図はあるのか。

- (市) 現行の計画を特別意識して記載したわけではないが、社会状況が変化していくなかで、今までやってきたことを継続しながら、新たな社会問題にも取り組んでいくという意図で記載している。
- (委員) 生涯学習と社会教育は一緒と思っている人がいるが、この2つは別物である。ただ事業と書くのではなく、社会教育事業と明示することで、社会教育は必要なことなのだと、理解してもらえと思う。
- (委員) 17 ページ 1 段目の 3 行目、「(高齢期は) これまで得た豊かな経験や知識を地域や社会に活かす」とあるが、高齢の方は豊かな経験や知識のほかに、幅広い人的ネットワークを持っている人が多い。自治体の方と接していると、人的ネットワークは大切にすべきだと感じるので、そういった視点も、文言に取り入れてもらえると良い。
- (委員) 年 2% 増を目標値とする指標が多いが、「家庭教育支援に関する学習機会を提供します」については、目標値を年 10% 増としている。これは新しい事業だから他の指標より増やしていくという想定か。
- (市) その通りである。今後力を入れていきたい取組のため、年 10% 増と目標値を高く設定している。
- (委員) いくつかの項目で現状値と目標値が同じ指標がある。例えば、24 ページの「つる舞の里歴史資料館が企画する展示事業 (3 館合同含む) の来場者数」は現状値も目標値も 3,055 人だが、上昇傾向にシなくてよいのか。
- (市) この指標については、毎年一定のパーセンテージで増やしていくことを目指した指標ではなく、過去 5 年間の実績の最大値を目標値として設定している。現行の計画では過去 3 年間の最大値を取る指標が多かったが、コロナ禍を挟んでいるので、コロナ禍前を含めた過去 5 年間の最大値としている。コロナ禍で減少した数値が令和 5 年度時点で増加していて、過去 5 年間の最大値となっている場合は、令和 5 年度の数値で据え置いている。
- (議長) 講座の参加者数の中には、定員が決まっているものもある。予算の関係もあるので全て上昇というのは難しいだろう。
- (委員) 22 ページの「家庭教育支援に関する学習機会を提供します。」の主管が図書・学び交流課となっているが、こども部の方でたくさん家庭教育支援の教室や講座を行っているはずだ。それは含めないのか。もし、生涯学習推進会議等でこども部との連携を検討できるのなら、ぜひ考えていくべきだと思うが、難しいか。
- (市) 今回の生涯学習推進計画は、生涯学習センターや図書・学び交流課の社会教育主事・社会教育士が支援できる範囲での学習機会の提供を想定している。
- (議長) 18 ページの家庭教育支援に関する記載で、3 行目に「総合的な施策が展開」とあるが、この中にはこども部で実施している子育て支援の施策も含まれていると思う。それと住み分けするかたちで、小学生就学以降の保護者を対象とした学習機会としての「家庭教育支援」を行うものと捉えているが、その理解でよいのか。

- (市) その通りである。
- (委 員) 家庭教育支援講座は、学習センターで行うのか。
- (市) 今現在、シリウスで「児童家庭教育学級」を1講座行っている。これをシリウスだけでなく、各学習センターにも広げ、参加者数を増やしていきたいと考えている。
- (委 員) 来年度から始める予定なのか。
- (市) 来年度までは現行の指定管理者との協定があるため難しいと思う。再来年度以降、新たに結ぶ協定の仕様書にこの取り組みを取り入れたいと考えている。
- (委 員) 家庭教育支援は学習センターの事業だけではなく、市P連の研修会等で講演を行ったりすることもできる。
- (市) 学習センターに限らず、市P連や活性化会議など、地域団体の活動に入って事業を行うことも検討していく。
- (委 員) 社会教育主事・社会教育士が、指定管理者の家庭教育支援等の事業を一緒に行うことはできるのか。
- (市) 学習センターの講座は指定管理者の業務になるので、全て関われるわけではないが、相談に対する指導・助言はできる。また、社会教育主事が地域の団体に入り、指導・助言することもできるようにしたい。
- (委 員) 社会教育主事・社会教育士が活躍できる場はこれから増えていくと思うので、現場で活動する仕組みを考えていく必要がある。指定管理者に社会教育主事はいるのか。
- (市) 社会教育主事になるためには教育委員会の発令が必要なので、市職員では無い指定管理者の中に社会教育主事はいない。社会教育主事になりうる資格を有している方はいるが、それが学習センター職員の要件というわけではない。
- (委 員) 指定管理者が、資格を有する人を「社会教育主事」と位置づけて、役割を担ってもらえばいい。綾瀬市の文化会館では、指定管理者のスタッフに社会教育主事が発令されている。そういった指導・助言を市が行うことも検討してはどうか。
- (議 長) 25 ページから 29 ページの施策目標 2 について、意見等はあるか。
- (委 員) 電子図書館については、新たに追加したのか。
- (市) 電子図書館は令和 4 年度に拡充したため、本計画の施策の内容に追加している。
- (議 長) 30 ページから 33 ページの施策目標 3 について、意見はあるか。
- (委 員) 32 ページの指標「アンケートによる利用者の満足度」について、現状値 88%、目標値 90%とあるが、アンケートの回収率は 26.3%と現状値の 4 分の 1 の数値しかない。(48 ページ資料編 1 より) これは 4 分の 1 しか集まっていない人達の満足度が 88%ということなので、まずはアンケートの回収率を上げてほしい。
- (市) ご指摘のアンケート回収率は、この生涯学習推進計画を策定するために、令和 5 年度のみ実施したアンケートである。指標のアンケートは、日常的に施設の利用について、利用者からいただいているアンケートの数値なので、ご指摘のアンケート回収率の数値とは別のものである。

(委 員) 現行の生涯学習推進計画には入っていた社会教育委員会議やスポーツ推進審議会の審議案件数が、指標に入っていない。新しい生涯学習推進計画の指標に入っていないと、不必要だと受け止められるのではないだろうか。入れなかった理由はなにか？

(市) 庁内の検討会議を7月に行ったのだが、その中で審議案件数や審議会開催回数は目標値を設けるものではないのではないかという意見が出たので、指標からは抜くこととした。ただこの時、指標にはせず別枠で書くべきではないかという話もあったため別枠で記載したい。

(委 員) 確かに、指標としてはおかしいと思う。開催回数は指標にはならない。ただ、社会教育委員会議が必要だということは記載してほしい。

(市) 承知した。

「大和市生涯学習推進計画(案)」第4章について、事務局より説明。

(議 長) 第4章の実施計画について、意見等はあるか。

(委 員) 35ページの「①学習センターの開館日数」について、渋谷学習センターが他の学習センターと比べて開館日数が少ないのはなぜか。

(市) 渋谷学習センターは月1回、最後の月曜日が休館のため、他のセンターと比べて開館日数が少ない。

(委 員) なにか注釈があった方が、市民も他の学習センターと比べて渋谷学習センターの開館日数が少ない理由に疑問を持たないと思う。

(市) 承知した。

(委 員) 45ページの「③社会教育主事・社会教育士(市職員)の配置職員数」が2人とあるが、もう少し増やしていただきたいと思っている。教育長にも働きかけなくてはいけないと思う。これからはコミュニティスクールの拡大等、学校との連携も必要になってくる。コミュニティスクールをはじめ、地域と学校をつなぐため社会教育主事を指導室にも配置することを検討してみしてほしい。

(委 員) 49ページの【質問2】を見ると、アンケートに回答しているのは60・70・80歳代が多い。中でも70歳代が多いので、先に意見が出ていた「安心・安全」について、本格的に考えないといけない。生涯学習のテーマも「アンチエイジング」などの要望が増えてくるのではないかと感じる。【質問4】を見ると、「夫婦のみの世帯」「親と子ども世帯の2世代世帯」が多いが、時間が経過するにつれて単身世帯に移行する可能性もある。社会教育の中身も、変化していく必要があると感じた。

(委 員) 講座に参加された方だけのアンケートでは、どうしても回答結果に偏りがでてしまうので、もっと広く集められるとよいが、致し方ないところもある。

(議 長) いくつか意見が出たので、事務局で検討していただきたい。新しい計画が充実したものになっていけばよい。絵に描いた餅にならないよう、実践の部分についてどのように行っていくか、私達社会教育委員も他人ごとではなく、自分のこととして受け止めて考

	えていかななくてはならない。 （市）60 ページに社会教育委員の氏名を記載している。このことについては問題ないか。 （一同）異議なし。 （市）大和市生涯学習推進計画については、10 月に市役所内の検討会議にかける。その会議で内容が修正される可能性がある。次回 11 月の第 3 回定例会につきましては、計画の修正点等について報告をさせていただきたいと考えている。日程は ① 11 月 25 日（火）午後 3 時 30 分から ② 11 月 26 日（水）午後 3 時 30 分から ③ 11 月 28 日（木）午後 3 時 30 分から 以上の候補日から選んでいただきたい。 ①は 1 名欠席、②は 2 名欠席、③は 1 名欠席 （市）本日欠席の委員にもお伺いする必要があるので、改めて議長と相談し、日程を決めさせていただきたい。 （議長）承知した。 以上で議事を終わる。 <閉会>
会議資料	・大和市生涯学習推進計画（案） 令和 7 年度～令和 11 年度（2025 年度～2029 年度）